

大学発！インターネットラジオ ～浅草太鼓～ 秋の公開収録



私たち東京江戸ラジオプロジェクトは、国際浅草学の一環として、トヨタ財団と文部科学省の助成を受けながら、2009年からインターネットを介した音声番組を作成してきました。この活動がロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）のラジオプロジェクトによって高く評価され、共同事業の可能性が生まれてきています。今回の催しはこの2つのラジオプロジェクトの最初の共同作業となります。今後明治大学とロンドン大学SOASが協定を結び、この共同事業が飛躍的に成長することが期待されています。

われわれのプロジェクトのメンバーである宮本卯之助氏と鹿島菊乃さんが中心になって、伝統の浅草太鼓を上演することとなり、SOASとの共同作業のはじまりを飾る意義深い企画となりました。是非お楽しみいただければと思います。

明治大学文学部教授 東京江戸ラジオプロジェクト代表
井戸田総一郎

- 1) 東京江戸ラジオ挨拶
- 2) ロンドン大学SOASラジオ及びヴァネチア大学挨拶
- 3) 望月太左衛門師による浅草太鼓に関する説明
- 4) 浅草太鼓実演・・・東京浅草組合
- 5) 宮本卯之助氏による解説
- 6) SOASラジオ等によるインタビュー
- 7) 質疑応答

日時：2012年9月20日（木）13時～15時

場所：浅草見番（台東区浅草3-33-5）

見番HP：<http://www.asakusa-kenban.com>（地図有り）

電話：03-3874-3131（場所のお問い合わせはこちら）

料金：無料 通訳：有り

問い合わせ：東京江戸ラジオプロジェクト

itoda@kisc.meiji.ac.jp

aihara@dd.ij4u.or.jp

この浅草太鼓は昭和四十七年、故十代目望月太左衛門師の作調により芸妓がお座敷でも頻繁に演奏していた曲であります。その後、平成九年浅草観光連盟五十周年記念公演（浅草公会堂）の演奏に際し、二代目望月太左衛門師により新たに編曲されました。さらに平成十六年三月「望月流邦楽囃子演奏会」（国立劇場）で十二代目望月太左衛門師の指導のもと新編成による出演を契機として、囃子部門の技能向上と優れた楽曲の演奏を継承し、伝承するために平成十六年十二月「浅草太鼓保存振興会」を発足しました。（浅草太鼓保存振興会）



浅草観音裏、言問い通りから柳通りに入って直ぐ右手に御座います。



キース・ハワード氏
Keith Howard
ロンドン大学
東洋アフリカ学院
音楽学部教授
専門領域：韓国音楽



カーロス・キリノス氏
Carlos Chirinos
ロンドン大学
東洋アフリカ学院
SOASラジオ
制作マネージャー



ローザ・カローリ氏
Rosa Caroli
ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学
外国語学部准教授
専門領域：日本文化学
沖縄学



東京江戸ラジオとは・・・

大学発のインターネットラジオを構築することによって、日本社会の国際化に大きく貢献することを目指しています。大学には、日本の文化や社会に興味を持つ、世界のさまざまな地域からの留学生がいます。学生たちに教室のなかだけでなく、外に出て地域の人や文化と直接触れて番組を制作するコンセプトを提供していくつもりです。また、地域に眠っている貴重な文化を発掘し、それを担っておられる方々の生の声を取材し、国際評価に耐えられるクオリティーの番組にして海外発信してきました。わたくしたちは浅草に焦点を絞って活動していますが、将来は他の地域にも伸びていきたいと考えています。

トヨタ財団の助成を受けて、日本の地域ラジオの取り組みや海外の大学におけるラジオ事業の展開を研究してきました。国内では、神戸震災を機にFMラジオを立ち上げた日比野純一氏、地域ラジオの草分けである京都三条ラジオカフェの時岡浩二氏やラジオメディアの可能性について熱いメッセージを送っている東京大学大学院教授水越伸氏を初めとする方々と連携を取ってきました。海外では、ミュンヘン大学やウィーン大学を初め、今回ご招待したロンドン大学、ヴェネチア大学と密接な関係を作り上げてきています。これらの内外の関係機関との交流を通して、大学発のラジオの可能性について具体的な構想を生み出すに至っています。

現在、ロンドン大学東洋アフリカ学院のSOASラジオとの提携の話が進んでいます。わたしたちのラジオがSOASに海外拠点を持つことができれば、浅草地区の人や文化をクオリティーの高い番組にして、海外の多くの方々に聞いてもらえるチャンスが広がります。また、ロンドン大学東洋アフリカ学院の学生を留学生として受け入れ、浅草地区の地元の人々と接触する機会を提供するなど、学生と地域を結ぶという大学発社会貢献の原点の活動を展開することができます。言葉や文化の違いという壁を越えて共感しあえる社会を作ることにはわたくしたち誰もが願うものですが、東京江戸ラジオプロジェクトはその難しい課題にチャレンジする試みです。

<http://tokyoedoradio.org> e-mail: info@tokyoedoradio.org



SOAS Radio (ソアス・ラジオ) とは・・・

SOASを拠点としたネットラジオとソーシャルメディアの機関です。SOASラジオの使命は、SOASの知識を世界に広めるために学生と研究者が一体となってラジオ番組を制作し発信することにあります。このような実践的な学習を通して、学生は研究対象にしている地域の人々と直接交流し、理解を一層深めることが可能になっています。

SOASはこれまで多くの人々にインタビューをしてきましたが、そのなかには、元モザンビーク大統領ルイサ・ディオゴ、マサチューセッツ工科大学教授ノーム・チョムスキー、ハリウッド映画監督ヤシュ・チョブラ氏、アニメ企業家ダニー・チュー氏、歌手のマヌ・チャオ氏などの著名な方々が含まれています。放送ジャーナリストでBBC司会者としても活躍しているゼイナブ・バダービ氏は、SOASラジオは多様性をもった素晴らしい声のチャンネルであり、次世代のプロードキャスターの重要な訓練の場だと評価しています。SOASラジオは、ワールド・ミュージック・オン・ラジオという講座を提供しています。運営者はBBC3のワールドルートとミュージックプラネットの司会者であるルーシー・デュランとSOASラジオのステーションマネージャーであるカーロス・キリノス氏です。この講座はアカデミックな学習と実践的な学習のコンビネーションとして大きな成果を出していると評価され、2009年にはDirector's Teaching Prizeを受賞しています。

SOASラジオは様々なプロジェクトに参加しており、イギリスやアフリカでコンサルティングサービスを提供しています。最近ではコンゴ共和国、タンザニア、そしてモザンビークのプロジェクトに参加しました。特にピソ・ナ・ピソというラジオ局の実現に貢献をし、北東コンゴに住んでいる遊牧的な民族に放送機会を提供することが出来ました。

SOASラジオはロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) により運営されています。

<http://soasradio.org/>



ロンドン大学東洋アフリカ学院

(the School of Oriental and African Studies, 通称 SOAS)

ロンドンの中心部にある大英図書館と大英博物館の真裏に校舎があります。ロンドン大学の一校で、その名の通り、アジア・アフリカ研究において有名で、世界的にも権威ある大学機関です。国内の大学総合ランキングでは毎年15位前後にランクインしています。学生の40%が留学生で、留学生のための英語コースなどのサポートが充実しています。

ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) は英国の高等教育機関のなかで唯一アジア・アフリカ・中近東研究を専門とし、この種の機関としては世界でも指折りの規模です。

www.soas-uol.jp